

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第8回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

新潟大学堀籠ゼミ“さとまる電鉄”の活動（域学連携）について

（2）協議（公開）

- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・視察研修について
- ・令和5年度地域協議会活動報告会の実施について

（3）その他（公開）

3 開催日時

令和5年11月27日（月） 午後6時30分から午後8時15分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、漆間和美、岡田龍一、高橋達也、竹内昭彦、松原功、宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一（欠席1人）
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長（総務・地域振興グループ長事務取扱）、宮尾市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、早川税・市民生活班長、高橋福祉班長（以下、グループ長はG長と表記。）

総合政策課 上石主事（オンライン出席）

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

会議録確認を竹内昭彦委員と松原功委員に依頼。

報告に移る。新潟大学堀籠ゼミ“さとまる電鉄”の活動（域学連携）について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

昨年度から、新潟大学堀籠ゼミの学生と地域の関係団体が連携し、二本木駅を活用した地域活性化をテーマに活動している。学生から地域の皆様に今年度の活動報告を行いたいとの申し出を受け、地域協議会委員への報告の場を設けた。

【新潟大学 堀籠准教授】

総合事務所職員の協力を得て、地域に入り活動を進めている。貴重な学びを得ている一方、地域へのお返しが出来ておらず、心苦しく感じている。今後も時間をかけて活動を継続し、いずれはお返しできるようにしたい。今後も見守っていただきたい。

【上石主事】

市が取組む域学連携事業の概略を説明。

【新潟大学堀籠ゼミ 学生 5 名】

資料「活動報告と来年度以降の活動方針」に基づき報告。

【竹内（靖）会長】

各委員からアドバイスを求める。

【宮川委員】

（共に活動した中郷商工会会長の立場で）大学生から斬新なアイデアをもらい、良いアドバイスとなった。中郷区外から見ている人の意見は面白いと感じた。商工会の活動に生かしたい。

【岡田委員】

(共に活動した中郷区まちづくり振興会理事長の立場で) 中郷区外を目線からの意見を聞き、普段活動している私たちが見えていないところに気付かされた。グループワークでは、グループごとに意見も異なり、参考となった。今後も一緒にやっていきたい。

【高橋（京）委員】

中郷区内にすることが多いため、外部の若い目線は有難いと感じた。

【陸川（昇）委員】

人が集まらなると活動も出来ないため、地域を巻き込んだ活動を考えていただきたい。

【村越委員】

素晴らしい活動だと思う。ロードマップ通りに活性化が進むことを期待する。協力もしたいと思う。

【松原委員】

大学生が着目した「同じ方向を向いて活動する機会が少ない」という中郷区における課題は、いい意見だと感じた。同じ方向を向くように促すのは難しいことだが、大学生のような区外の方から意見をもらい、変わっていったら良いと思う。

【竹内（昭）委員】

長い間中郷区に住み、イベントを一緒にやっていると同じ方向を向いているように感じていたが、大学生から中郷区における課題を聞き、確かにそうだと思う。外からの視点と中からの視点を組み合わせると良い。新しい意見が聞ける良い活動である。協力もしていきたい。

【高橋（達）委員】

区外からの意見として、率直に受け止めたい。地域協議会でも様々な協議をしているが、1つにまとめることは難しいと感じている。次年度に活動を繋げるためには、どんな準備をしておかなければならないのか詰めていっていただきたい。定住人口を増やすには、関係人口や交流人口を増やす必要があると考えている。大学生にも力添えいただきたい。

【漆間委員】

中郷区で活動していただいていることを嬉しく思う。中郷区に住みつつも中郷区と向き合えず、マイナスイメージを積みあげている自分がいたが、大学生のプラスイメージに変える発想力は素晴らしいと感じた。

【荒川委員】

年を取ると考えが偏ってしまうが、学生の柔らかい頭で今後もいい意見を出していただき、未来へ繋いでほしい。

【竹内（靖）会長】

中郷区で活動していただいていることを有難いと思う。大学生のアイデアは我々地域住民が実施していくこととなるが、机上の議論で終わらず、関係団体が中心となり実施する体制を作っていきたい。

二本木駅の活性化は、数年前に行った住民団体主催のワークショップで小学生がスイッチバックについて触れた時から力を入れている。これまでは中郷区の住民にとって当たり前の存在だった。その後は地域住民が主体となって活性化に向かっている。二本木駅に目を向けている地域住民はいるので、巻き込みながら活動していただけると有難い。みんなと一緒に活動していきたい。

【新潟大学 堀籠准教授】

今年度の学生の活動に前向きなコメントをいただき有難い。今後も地域の方との交流を深め、学生に対し忌憚のない意見をいただけるような関係を築いていきたい。

【竹内（靖）会長】

報告事項は以上とする。

協議に移る。自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、前回の協議では、令和6年度地域独自の予算事業に提案した2件の事業の内容を最終確認した。今回は、第2回中郷区地域協議会で交通政策課の説明を受けた時に出た委員からの意見を受けてまとめた「互助の運行をした場合の市からの支援」について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料 No. 1 に基づき説明。

現在の中郷区の公共交通は、9月末日をもって、これまでの関山ルート運行事業者が撤退し、11月1日から1者が岡沢ルート、稲荷山ルートの運行をしている。これまでの岡沢ルート運行体制のまま稲荷山ルートの運行も行っているため、撤退前と比べて7便減便した運行となっている。

1便当たりの利用者数が1.0に満たず、第2次上越市総合公共交通計画による評価は、「廃止を検討する」こととなっており、令和7年4月から互助による運行を想定している。

【松原委員】

資料内の実績に、中ノ俣で特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部が運行している記載があるが、利用者はどのくらいなのか。

【桐山班長】

利用者数については確認していない。

【竹内（靖）会長】

他区でも互助による運行を始める際に、人材不足の問題に最初にぶつかったと聞いている。中郷区でも同じ問題にぶつかることが想定されるため、仕組みを作る必要がある。

柿崎区での運行に使用している車両は、運行団体が自費で購入したのか。

【桐山班長】

市の負担により購入している。

【竹内（靖）会長】

決められるところはあらかじめ決めて、互助による運行のスタートを切りたい。高齢者が中心になると思うが、どのように具体的な要望を聞き、どのように互助による運行をしていくか、地域独自の予算を活用した事業による検証結果を活かしながら令和6年度中に検討していきたい。

令和6年度の地域独自の予算事業に提案した「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿検証事業」では、タクシーによる移動に慣れてもらうことを目的とする企画運行と、移動手段に困っている人達の要望を把握し、互助への運行に反映させることを目的としたリクエスト運行を実施することになっている。企画運行は今年も実施しているが、受託者からの声かけで参加している人が多く、チラシを見て自ら申込みをしている人は少ない。募集方法について、どのようにしたら良いか意見を聞きたい。事前登録制についても意見を聞きたい。

【高橋（達）委員】

募集方法や事前登録制についての考えがまとまらない。事前登録制とすることが今後の互助による運行につながるのか見通せない。令和6年度の検証事業は令和7年度から始まる互助への運行を見据えて行うため、段取りをつけて協議を進める必要がある。検討事項を整理し、協議するスケジュールを組むべきではないか。

【竹内（靖）会長】

前回の地域協議会でも似たような協議をしていたため検討事項を共有できていると思っていたが、突然の問いかけとなってしまう申し訳ない。事前登録制については、登録するメリットについて検討してきた。他区での実施事例も参考にしながら検討していきたい。高齢者の要望は普段の買い物への交通手段だと概ね把握できているが、本当に交通手段に困っている人を事前登録で集め、意見を聞きたい。事前周知する方法がポイントになると思っている。

今日は委員の皆さんから互助の運行に対する考えを聞き、それを踏まえて高橋（達）委員の発言にあったようにスケジュールを組むこととしたい。

【村越委員】

他区の運行実績から良い点、悪い点を詳しく聞けるとイメージが付きやすいと思う。現在乗合タクシーを利用している方や、防災訓練で要援護者となっていた人が事前登録者となっていくのではないか。

【竹内（靖）会長】

柿崎区での互助による運行は急に始まったものではないか。

【桐山班長】

柿崎区では公共交通運行事業者がいなくなり、交通空白地となったため住民団体による運行が始まった。

次年度の事業では、中郷区で公共交通を必要とする限られた人が、どのような運行を必要としているのかを聞き、聞いた内容を令和 7 年度から始まる互助による運行で活かすことをイメージしている。他区の実績は参考にはなると思うが、地理的条件が異なる。実際に困っている人の話を多く聞くため、事前登録制で集める必要があるのではないか。

【陸川（昇）委員】

公共交通を必要とする人を見つけることが大切だと思う。必要としている人は高齢者だけでなく、例えば飲み会に行くために必要としている人もいる。

【漆間委員】

陸川（昇）委員の困っている人が高齢者だけではないという意見に賛同する。子どもたちも乗ることが出来れば、友達の家に行くときに利用するのではないか。高齢者に限らず困っている人を探るべき。

【竹内（靖）会長】

陸川（昇）委員、漆間委員の意見もあると思う。保護者からも同じような意見を聞くことがある。困っていることの調査をどうやってやるか検討していきたいが、今日この場で案を出すのは難しいと思う。前回から議論が進まない。これまでの協議内容とこれから検討が必要な項目をまとめた資料を作成願う。

【岡田委員】

互助による運行をしている他区の雇用状況を教えてほしい。通年で雇用しているようであれば、予約運行にしなくても良いのではないか。

令和 6 年度の検証事業に目を向けるのか、令和 7 年度の互助による運行に目を向けるのかも明確にしてほしい。

【竹内（靖）会長】

三和区、柿崎区は振興会の事務局が兼任している。人材不足により、互助による運行のために新たな雇用はしていないと聞いている。

【岡田委員】

（中郷区まちづくり振興会理事長の立場で）中郷区まちづくり振興会で現在小学校のスクールバスの運転手を雇用している。その人を互助による運行の運転手としても雇用出来ないか検討しているため、参考としたい。

【竹内（靖）会長】

岡田委員の疑問点については事務局に調査していただきたい。まずは委員一人ひとりが意見をまとめられるように資料を作成願う。

【高橋（達）委員】

互助による運行と令和6年度に提案した事業の議論が混同している。これまでの地域協議会に欠席した委員もいるため、資料にまとめていただけると考えを整理しやすい。今は、令和6年度に実施する事業内容を整理し、3月に実施する活動報告会で周知できると良い。

【竹内（靖）会長】

令和7年度の互助による運行が目前に迫り、令和6年度はそれを見据えて検証事業を行うというのが、令和6年度の地域独自の予算事業提案の始まりである。「令和7年度を見据えた」令和6年度の事業であることを再度認識いただきたい。資料にまとめることでイメージを共有し、目標やプランを立てていきたい。

高橋（達）委員の発言のとおり、活動報告会で町内会長等へも報告できるようにしたい。

【加藤次長】

中郷区の公共交通は、乗客数の減少に伴って乗合バス、廃止代替バス、乗合タクシーと変遷し、乗合タクシーさえも廃止目前となっている。今後は困っている人のための互助による運行に変えざるを得ない状況になっている。このような背景を踏まえたうえで議論いただきたい。

【竹内（靖）会長】

令和6年度の地域独自の予算への提案事業の2つ目である「子どものい〜場所開設事業」についても紙面にまとめ、子どもの募集方法や実施内容のアイデアなどの事業内容に踏み込んだ検討事項を委員の皆さんへ投げかけることとする。受託予定である中郷区まちづくり振興会との協議状況も確認する。中郷区まちづくり振興会に負担がかかりすぎないようにしていきたい。（中郷区まちづくり振興会理事長である）岡田委員からも中郷区まちづくり振興会の理事会等で話を出していただき、事業への思いなどもすり合わせていただきたい。

次に、協議事項（2）視察研修について、事務局に説明を求める。

【津島主事】

資料「令和5年度中郷区地域協議会委員の研修について（ご案内）」に基づき説明。

【竹内（靖）会長】

全委員、都合をつけて参加いただきたい。以前地域で活動する若手にも参加を呼びかける話が出ていたが、周知に要する時間や研修目的を考え、今回は地域協

議会委員のみの参加とする。出欠を事務局へ報告していただきたい。当日の司会進行は私が行う。資料の事前配布はあるか。

【津島主事】

現時点では事前配布資料はない。創造行政研究所に改めて確認する。

【竹内（靖）会長】

承知した。

次に、協議事項（3）令和5年度地域協議会活動報告会の実施についてに移る。地域協議会委員改選を踏まえ、3月2日（土）13時30分からの実施を提案する。会場はこれまでは一とぴあ中郷のホールで行っていたが、客席とステージに距離があった。町内会長や各種団体をはじめ、区内全体へ周知するが、これまでの参加状況を見ていると研修室で収まる人数になると思われるため、研修室で実施とする。（反対意見なし）報告内容は私と事務局で案を作成する。

以上で本日の協議を終了する。その他に移る。

【竹内（靖）会長、高橋（達）委員、高波所長】

11月11日（土）に開催された「上越市の地域自治区制度と住民自治を考える集い」に参加し、感想等を報告。

【高橋（達）委員】

（中郷ジュニアクロスカントリースキー育成会会長の立場で）地域独自の予算事業として11月19日（日）に「団体結成20周年記念講演会」を開催したことを報告。

【竹内（靖）会長】

（中郷区さとまる学校理事長の立場で）地域独自の予算事業として11月25日（土）に「共生のステージ『華響』」を開催したことを報告。

【加藤次長】

11月10日（金）に「中山間地における空き家の利活用」をテーマに開催された安塚区、浦川原区、大島区の地域協議会委員研修会に参加した概要、感想等を報告。

【桐山班長】

配布物の確認。

【竹内（靖）会長】

次回の地域協議会は12月25日（月）18時30分から行う。以上で、本日の地域協議会は終了とする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。